



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 10日 火曜日	試合コード	#83
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	JPN	31	前半	33
13-17				
後半				
18-16				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7mC	—			
—	—			
JAPAN (日本)	—	Spain (スペイン)		

戦況	見出し	ESPが2点差でJPNを破る
	前半	D組3位のJPNとC組1位のESPのMAIN ROUND-Group2の試合は、ESPのスローオフで開始。ESPはPV-No44が先制のゴールを決める。ESPは6-ODFから積極的に前に出て、JPNの攻撃にチャンスを作らせない。ESPの大型PVのマークに苦しむJPNだが、7分09秒に7mTを決め5-4と1点リードする。10分を過ぎて6-5で白熱したゲーム展開になる。11分45秒にJPN-No4のカットインが決まっても、ESPもリスタートで取り返す。中盤には、ESPのRB-No99がカットインを決めると、JPN-No25がリスタートで取り返し9-9のまま。JPNはCB-No81を投入して、パス回しが早くなり、19分07秒No25が4得点目の7mTを決めて、10-10と一進一退。ESPは5-1DFにしてチェックを早くするも、JPNはLW-No13が角度のないところから見事に決める。23分過ぎに、JPN-No15のカットインで13-13と全く譲らない。24分31秒ESPが先にタイムアウト。JPNは高い3-3DFで勝負に出るが、PVマークのNo28が退場となる。28分00秒ESPの速攻が決まり13-16となったところで、JPNがタイムアウト。ESP-No25が7mTを決め、JPN13-17ESPで折り返す。
後半	4点を追うJPNのスローオフで後半30分の開始。JPN-No28のPVシュートで先制し、14-17と追い上げる。3分過ぎにJPN-No41が7mT、続けてNo81がカットインを決め17-19の2点差になる。8分25秒には、速攻から退場と7mTを獲得したJPNは、No27が確実に決めて19-21と2点差に縮める。JPN-No25、No3と連続ゴールし21-21の同点となった11分10秒に、ESPがタイムアウト。ESPのGK-No48がフィンセーブして、今度はESPが連続ゴール。14分14秒23-23となり、中盤は同点でゲームが進む。17分過ぎ、JPN-No4がスカイプレーを決め、ついに25-24と逆転する。25-25で得たJPNの7mTを、ESPのGK-No12がフィンセーブ。21分過ぎに、ESPに7mTを決められ、25-27と2点ビハインド。常にESPがリードを保ち、24分24秒ESP-No86が7mTを決め27-29となる。ESPは効果的にPVで7mTを得て得点を重ねる。JPNはCP7人で攻め、No27が得点するも、ESPはリスタートから円むいてゴールに突き刺し取り返す。27分47秒28-32でJPNがタイムアウト。JPNはDFをプレス気味に積極的に当たり、LW-No18が決め30-32と粘る。JPN31-33ESPで試合終了。プレーヤーオブザマッチは、JPN-No25OHYAMA Manaが受賞した。	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------

